

—6月1日推計人口—

人口総数	68,570	世帯数	19,414
男	32,702	面積	16.07k㎡
女	35,868		

芦屋市民憲章

わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきずきましよう
- 自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

「献血デー」に預・献血を

笑顔で贈ろう愛の献血

毎月第三金曜日は「献血デー」。この日は市役所前の移動採血車で採血して、これまで二回の献血デーには二百二十八人の方が預・献血をされました。思いもかけぬ事故に備えて、あなた自身のため、みんなのために預・献血をしましょう。なお、二回の献血デーにいられた女性に採血不適格の者が目立っています。これからは暑さに向かうときでもあり、食生活に気をつけて夏を健康に過ごしていただきたいと思ひます。

血液は、人間の生命が母体で宿つてからこの世に生まれ一生を終るまで一刻たりとも休みなく活動を続け、われわれの生命を保持してくれる文字どおり、「いのちの綱」です。従つて不測の事故や大手術などで失われた血液は、どうしても補わなければならない。

ところが血液の売買が禁止されている現在、患者の家族、同僚、知人などが血液銀行を通じて供給することによって血液を確保しています。しかし、大量の輸血が行なわれる場合が多く、組織によらなければ調達は困難です。

そこで本市では、昭和四十一年に「芦屋市血液問題推進協議会」を発足させ、同協議会を中心に、市民のための血は市民の手で確保しようという「相互扶助方式」をとりました。これは預・献血を呼びかけました。これは預・献血を呼びかけました。これは預・献血を呼びかけました。



献血デーには、市役所前へ移動採血車が来ます

健康は大そうじから

11日～19日のつこうのよい日に

ことしにも一度の大そうじをする時期になりました。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

近ごろでは、大そうじのポイントをはきあげてほりたたくことだけになり、それより、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

大そうじの期間、次のようになっています。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

大そうじの期間、次のようになっています。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

大そうじの期間、次のようになっています。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

大そうじの期間、次のようになっています。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

大そうじの期間、次のようになっています。七月十一日(土)から十九日(日)までの七日間、お宅のつこうのよい日を選んで大そうじをしましょう。

薬剤の空中散布は中止

市では七月中に三回実施する予定だった薬剤の空中散布を中止しました。これは他府県で農薬の散布による被害が報告されたため、昨年からの共同で空中散布している阪神間四市(芦屋・西宮・尼崎・伊丹)で検討した結果、中止を決定したものです。

普通薬剤であり、体内には蓄積しないといわれています。また、市民からも実施についての強い支持、要望が寄せられていたため、有害といえない反面、無害でもない。きれす万一の被害を考慮して本年は一応中止に決定しました。

市では七月中に三回実施する予定だった薬剤の空中散布を中止しました。これは他府県で農薬の散布による被害が報告されたため、昨年からの共同で空中散布している阪神間四市(芦屋・西宮・尼崎・伊丹)で検討した結果、中止を決定したものです。

市では七月中に三回実施する予定だった薬剤の空中散布を中止しました。これは他府県で農薬の散布による被害が報告されたため、昨年からの共同で空中散布している阪神間四市(芦屋・西宮・尼崎・伊丹)で検討した結果、中止を決定したものです。

児童の先天性心臓疾患に手術費の一部を補助

最近、学童の健康診断が進んだこともあって、先天性の心臓疾患の子どものときどき発見されます。こうした子どもたちは生まれながらに心臓に一定の欠陥があつて、十数年しか生きられない場合が多いのですが、早期に発見して適当な時期に手術をするにによって救われます。

このため、国は児童福祉法で「育成医療」ということをきめており、低所得者などが先天性心臓疾患の手術を受けるときは、全額公費負担で手術できる道を開いています。ところが、この育成医療の給付を受けるには所得など一定の制限があり、また、この手術が他の病気にくらべてとくに多額の費用を必要とするため、ある程度の所得のある人も手術費に困り、そのために手術を見送ることがあります。

これでは育成医療の趣旨が失われてしまいますので、このたび育成医療の給付対象外の世帯に対して、市費で補助を行なうべく制度を設けました。補助対象となる疾患、どんな人が受けられるのか、どれだけの補助があるのか、申請の方法など、くわしくは市衛生総務課(電話二二二二)へお問い合わせください。

市民健康診断の日程

月・日	午前9時半～11時半	午後1時～4時
7月6日	伊豆町 2番	伊豆町 2番
7月7日	伊豆町 3番	伊豆町 3番
7月8日	伊豆町 4番	伊豆町 4番
7月9日	伊豆町 5番	伊豆町 5番
7月10日	伊豆町 6番	伊豆町 6番
7月11日	伊豆町 7番	伊豆町 7番
7月12日	伊豆町 8番	伊豆町 8番
7月13日	伊豆町 9番	伊豆町 9番
7月14日	伊豆町 10番	伊豆町 10番
7月15日	伊豆町 11番	伊豆町 11番
7月16日	伊豆町 12番	伊豆町 12番

公害の実態を調査

測定車使い市内三カ所で

なかつたため市では六月四日と五日の二日間、公害測定車を使って、公害調査を行なう。今後、公害対策を進めるうえのデータを集めました。

測定車使い市内三カ所で

なかつたため市では六月四日と五日の二日間、公害測定車を使って、公害調査を行なう。今後、公害対策を進めるうえのデータを集めました。

禁止・危険

こんな標示のあるところでは泳いではいけません

ナイター水練学校

一般の部募集
7月28日～8月7日の
火・水・金曜日(6回)

- とき 午後7時～8時30分
- 定員 100人
- 会費 1,000円
- 資格 一般男女
- 申込 7月20日までに教養体育保健課へ

芦屋市民プールへどうぞ

プールの使用できない日

- 7月13日～17日の午前中
- 7月21日～8月20日の平日の午前中
- 8月10日終日・8月20日終日
- 8月21日午前中

市民プールの電話番号31局4643です



夏をこうして

▶**精道中学校**
規律正しい生活を望む。それには、たくましい身体、健康な生活が要求されよう。長い休みであるから自主性、自発性を発揮し、あとから振り返って有意義な夏休みでありたい。
【7～8月の行事】父兄懇談、宿泊訓練などを実施する。

▶**山手中学校**
無計画、無方針の生活が夏休みを無意味なものにすることに着目させ、自主的勉学、幅広い見聞、心身の鍛練など計画を自分なりに立て実行するよう指導する。そして、外出時の服装、単独行動、好ましからめ場所への出入、交通規則、自転車等の遠乗り等について、家庭との連絡を密にし事故防止を徹底する。
【7～8月の行事】町別生徒集会、父兄懇談会、宿泊訓練、水泳指導、街頭補導などを実施する。

▶**精道小学校**
自ら計画し行動する、家族の一員として自覚し行動する、自然、風土に接する、親子で話し合う、健康、学習面での欠点を補う、体力、気力を養うなどのよい機会として夏休みをとらえ、自分のものにする。そしてこれらの前提となる「安全」については、きびしいしつけによって防ぎたい。
【7～8月の行事】個人懇談会、地区別集会、課外水泳、親子水泳、街頭補導、野外活動などを実施する。

▶**富川小学校**
自発的、積極的に計画を立てさせ「やる気」でそれに取り組ませ、最後までやりとげさせる。また、自然と親しませることによって、たくまさを育て、自然をいたわる人間らしいやさしさを身につけたい。
【7～8月の行事】街頭補導、校庭開放、学校水泳、自然に親しむ会、キャンプ、キャンプファイヤー、学校動物の飼育、学校植物の世話などを実施する。

▶**山手小学校**
自由研究を中心に、自主的継続研究、読書の拡充、くふう発明品の製作、郷土への墓参旅行、山登り、採集、水泳など夏休みでなければできない豊かな生活経験を味わわせ、思いきりたくましく生活年輪を太らせたい。
【7～8月の行事】臨海学習、課外水泳教室、親子水泳、星空映画会、野外活動、1人1研究などを実施する。

▶**岩園小学校**
児童の生活の場を、輝やく太陽、清浄な空気、緑の自然と、なごやかな家庭に移して、自主的に健康でけじめのある楽しい暮らしができるように、そして得た経験が明日からの学校生活に有意義に反映されるよう期待する。
【7～8月の行事】キャンプ、親子ハイキング、校庭開放、1人1作などを実施する。

▶**精道幼稚園**
夏の自然の中で、山の子、海の子、川の子になつてうんと遊ばせよう。睡眠、食事、遊び、休息などその子に合った一日のプログラムを立て、生活のペースを整えよう。その子に合った課題をもたせ、それをマスターさせるために家族ぐるみで励まし努力させよう。
【7～8月の行事】プール遊び、お話しとリズム遊びの会などを実施する。

▶**富川幼稚園**
海、山などの自然にふれたり、七夕祭などの行事を通して生活経験を豊富にし、たくましいからだに豊かな心を育てよう。家庭の一員として、きまりのある生活の中で明るく人間性を養いたい。また、危険防止につとめたい。
【7～8月の行事】プール遊び、学級懇談会などを実施する。

▶**山手幼稚園**
楽しい日々を送る中にも、けじめと充実のある毎日にしよう。社会に、自然に、生活や経験の場を広げてやりたい。
【7～8月の行事】プール遊びなどを実施する。

▶**岩園幼稚園**
たくましいからだ、豊かな心を育てよう。よい習慣をつけ、危険な遊びをしないで、よい遊びを自分でみつつけてしよう。自然に親しみ、からだを鍛えよう。
【7～8月の行事】プール遊び、納涼の夕、同園会などを実施する。

▶**小穂幼稚園**
生活のリズムをこわさぬよう、加えて積極的な体力づくりも考えよう。身体を使ってのダイナミックな遊びを楽しませよう。自然に親しむ機会を多くし、豊かな経験をさせよう。
【7～8月の行事】プール遊び、夏の遊びなどを実施する。

夏に鍛え夏に学ぼう

間もなく夏休み、他の休暇と違って、四十日という長い休みです。それだけに、体力と気力を養い、自由学習を行なうまたとない機会です。また、一方いろいろな意味で、学校と家庭とがより一体とならねばならぬ期間でもあります。
各々学校の夏期教育方針と行事、家庭での家族ぐるみでの行事、あるいは、くふう創作展の作品にみられるように、日ごろから心かかっていることの改良やくふう研究等々、具体的にいつ「夏にきたえ、夏に学ぼう」には、四十日の休暇も含め、夏をどのように過ごせばいいのでしょうか。今回は富川小学校校長先生におたずねしてみました。

「夏休み」を考え直そう

なぜ、夏休みという期間が設けられたのでしょうか。暑い日だるさという期間で、身体の休養が必要なものとして家庭へ移るやっかいな期間期間であるという理由も一つあります。そして、休み中に、子どもの学力、



教育のページ

緑の中でゲームを楽しむ子ども達

近ごろの子どもの場合は、多忙を強いられています。宿題やテストにせめてられ、家で読書やゲームに没頭する暇もありません。このことから、わたし達は夏休みをもっと積極的に生かし、夏休みでなければ子ども達にできない、生きた経験を身につけさせたい。夏休みの特色を考え直してみなければならぬと思います。

自発性、自立性

夏休みは子どもの指導の一つの大きな核です。具体的には、この夏休みをどう過ごさせるかですが、子ども達に明日をどう生きるかを考えさせる。受け身ではなく、自発的に積極的に取り組ませるといふことです。これには、子ども達の個々の思いや願いをも含めて計画を立てさせ、実行させることが

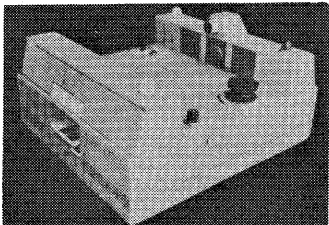
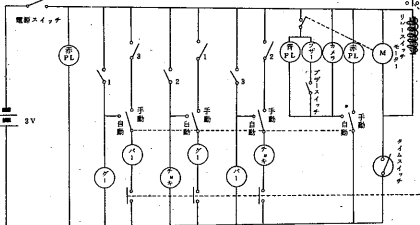
自由と規律

子どもの「やる気」すなわち活力を生かすために、ある程度子ども達を追い込んで、その中から本来の強さを生み出し、貴重な体験を得させてやりたい。やり抜くという事は、たとえその事は小さい事であっても、たくまさを新しい習慣として身につけることができます。強さが責任感を育てていきます。自発性の欠けた受け身の忍耐からは好ましいものは生まれません。しかし、子どもはたまたましい忍耐の強さを育てあげることができず、また、なまける自由にも流れることを知っておく必要があります。

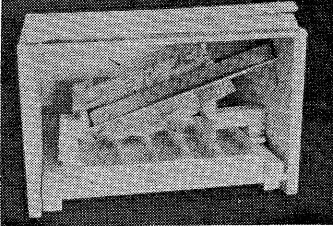
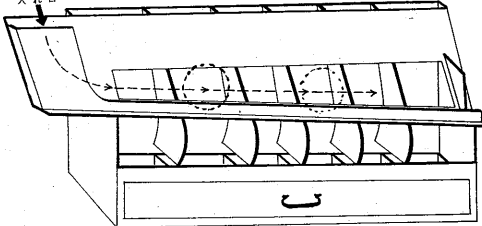
身心の健康

健康と安全、気力と体力を養う四十日間でもあります。恵まれた施設と緑の自然の中に子ども達を思い切り解放してやりたいものです。さらに、家族の一人として日々の家庭生活を営んでいく為、子どもの役割分担の位置づけを明確にし、自覚につらなるものとしてやっつけてください。また、学校、家庭以外の社会に眼を向け、見えて学ぶ社会の窓を広げていく豊かな機会でもあります。

コンピューター・ジャンケン機



自動お金分け機



みんなで参加しよう

- 市民ハイキング (雨天中止)
▽集合 午前8時15分阪急芦屋川
▽コース 能勢口→妙見口→野間
▽神社 妙見奥の院→野間大原→大堂越→妙見ケール下→能勢口
▽解散 妙見ケール下
▽費用 小学生40円、中学生80円、大人100円
▽集合 川西町15-3
▽出発 午前7時50分
▽バス 芦屋本谷新ハイキングコース
▽声援 芦屋本谷新ハイキングコース
▽声援 芦屋川(解散12時)行程 8時
(家族向)▽地図 大阪西北
どちらも弁当、水筒、雨具持参。
はきものは登山靴か運動靴。
8月1日から
早期登山の会 7日の午前6時
から7時に、各自高座の滝へ。皆
勤の人には賞品をさしあげます。
7月22日(水)
ルナホールで、
青少年団体交友会(雨天中止)▽指
導 川崎正悦先生▽対象 小学生
から一般まで▽持ち物 弁当、水
筒、採集用具、筆記用具▽希望者は
当日午前八時三十分以前に図書館へ
打出、翠ヶ丘、竹園の各集会所で
まで市民クラブで開きます。

山手幼稚園

もう帰ってこないときを
めいたつばねが二年ぶりに
姿をみせてくれました。玄関
の天井に巣を作り、大事に卵
をだてています。えさをさが
して出ては、すぐ巣を心配し
てヒューヒューとくっくく親
つばねを見て、園児は大喜び
子つばねが生まれるのを心待
ちしています。

芦屋夏期大学開講

7月29・30日 ルナホールで

■参加できるのは市民・市内在勤者■申込は所定の用紙で8日から15日までに業平町8-24市立公民館夏期大学係へ(郵送のときは返信用封筒を同封)■定員はA～D各区分とも先着700人■申込書は公民館、図書館、青少年センター上宮川会館、打出・翠ヶ丘・竹園の各集会所、市役所受付に■受講料は無料。

講演日程

9:30	10:00	10:30A	11:40	13:00	B	14:30	15:00	16:30
29	受付	開講式	講演	休	講演	休	音楽	
			阪南大 名誉教授 大山大 名誉教授 大山大 名誉教授	休	NHK 館野守男氏 「70年代の展望」	休	ピアノ 沖本ひとみ女史 「ショパン幻想曲 op.49」ほか	
9:30	10:20	C	11:40	13:00	D	14:30	14:40	16:00 16:15
30	受付	講演	休	講演	休	講演	閉講式	
		東大教授 林健太郎氏 「世界史の中の日本」	休	講演 名誉教授 田岡良一氏 名譽教授 田岡良一氏 名譽教授 田岡良一氏	休	講演 評論家 梅原猛氏 「神々の生と死」		

